

がんばれババママ

一九八九年、一人の女性が生涯に産む子どもの数を示す「合計特殊出生率」が六六年の、ひのえうまより低い史上最低の一・七九を記録しました。その後も出生率は下り続け、九〇年には、一・五四、現在も下り続けています。

人口を維持するためには出生率が、二・一以上必要といわれ、日本は深刻な状況に直面しています。子どもは平均一人という時代をむかえ親子関係にどのような変化が見られるか気になるところです。

かつては、兄弟の中から代表選手が上級学校へ進んだものだが、今では、好むと好まざるにかかわらず、一人っ子が親の期待を一身に集めることになります。この様な中で、子どもは子どもなりに親子関係に対処しています。母と子は仲よしの関係にあります。中には「お母さんは、だましやうい」と親しみをこめて言う子どももいます。

お母さんの弱点の第一は「勉強」です。「勉強」「宿題」と言えばたいていのことは免れることができます。「勉強」と言えば、自由に外出することもできます。

何かほしいものがあるときは、「みんな持っている」と言えば手に入れることができます。

お母さんは、この「みんな」に

も弱いようです。ですから友だちが二、三人持っている「みんな」にしてしまいます。

さらに「いいお母さん」には、とりわけ弱いのです。

「お母さんは、話がわかるから大好き」という言葉を、週に二、三服のまておくと実にうまくいくらしい。子どもには「無用のおねだりはしりぞけよう」と毅然たる言葉がノドまで出かかって、薬がきいていると「ああ、私は話のわかるお母さんだったと思い直して、天使のような声が出てくるのです。」



子どもたちは、こんなお母さんをだますのは「気の毒だ」と思っています。多くの場合、子どもの方がセーブしているので問題は生じないようですが、自分の子どもばかり見つめていると、見る目がかすんでしまうので要注意です。

その点、お父さんが黙って、にらみをきかせているかと思うと、ようすは少しがうようです。

意外にも「友だちづきあい」に近い父子関係にあるようです。

「私の父は普通の男の人より少し小柄の方です。父が何か言うとき、私たちは『背がね、背が低い

からね』と言います。みんなが一齐に笑うと父は『何ぬかすか』と笑いながら言う。妹より低い父は、いつも品物を高い所に上げられて困っている。でもそんなこと言っ

てはいけません。お父さんは、私たちのため一生懸命働いているのだ」妹より背が低い父。それをはやす子どもたち。おそらく、その横でお母さんも一緒になっているの

でしょう。笑いながらも、ひそかに父の労働に感謝しています。ここに新しい父子関係の縮図があるような気がします。

「お父さんに、何と言って叱られるか」を調べてみますと、一番多いのは「お母さんの言うことをききなさい」です。

ことによったら、この言葉の底には「お父さんも、お母さんの言うことをきいているのだから」という気持ちがひそんでいるかも知れません。

父と子が仲よしというのは、もちろん結構なことですが、しかし、何か欠けているようにも思われます。それは、父としての存在感です。

「遊び」と「勉強」という二面しか知らない子どもたちに、人間には本気でぶつかって、信念をつらぬき、あるいは戦わなければならないことがあるのだ、と言うことを、父親の言動を通して伝えていく必要があると思うのですが。

生涯学習振興事業

陶芸教室開催

主催 中央公民館

世の中でただ一つ

陶のうつわを

あなたの手で

中央公民館では、次の要領で陶芸教室の参加者を募集します。

講師

元谷村第二小学校長

渡辺長重先生

場所 文化会館内中央公民館

募集人員 45名(都留市民に限る)
募集期間 6月15日～30日
定員になり次第締め切ります。
実施日

45名を先着順に三つのグループに分け順次実施しますので、追って個々の方へ期日、時間等お知らせします。

申込方法

①中央公民館へ来館いただき、所定の申込み用紙に、氏名、住所、年齢、職業、電話番号を記入し、申し込みください。
②電話でのお申し込みは遠慮させていただきます。

材料費 3000円程度

高齢者交通安全

ゲートボール大会開催

4月13日(火)都留警察署(署長 清水夏男)・都留交通安全協会(会長 天野健)は、田野倉サンスポーツランドにおいて、「高齢者交通安全ゲートボール大会」を開催しました。

この大会は、都留署管内の安協各支部から65歳以上の高齢者達84名が12チームに分かれ勝敗を競うもので、今大会で5回目です。

このゲートボール大会は、通常のゲートボールのルールに交通安全マナーを織り込んだ特別ルールが採用されており、参加者は特別ルールに戸惑いながらも、元気にプレーを楽しみました。

大会の結果は次の通りです。

優勝 東桂支部Aチーム
準優勝 上谷支部チーム
第3位 道志支部チーム

